

協議会名：春日中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	済美幼・大安寺幼・済美小・大安寺小・済美南小・春日中
	協議会の構成人数	28人
	コーディネーター数	7人
	ボランティア数	100人

本年度のテーマ	春日は一つ、三つの輪
活動の概要	・地域と協働したフェスタの開催 ・環境整備
校区の特色ある取組	・地域別懇談会（学期に1回） ・ふれあい文化祭
取り組むうえでの工夫	地域と学校園と園児・児童・生徒とのふれあい
取り組みの成果	・三つの地域の連携・学校園の交流・学校園と地域の連携が深まる。
取り組みの課題	各事業への参加者・協力者が固定化してきた。
困っていること	事務局の負担が多い。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）

協議会名：三笠中学校地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	大宮幼 大安寺西幼 椿井小 大宮小 大安寺西小 佐保川小 三笠中
	協議会の構成人数	32人
	コーディネーター数	15人
	ボランティア数	190人

本年度のテーマ	奈良の中心地としての伝統や文化・誇りを再認識し、新たな郷土愛や誇りを育む。 合言葉は、『三笠はひとつ、三笠はならのまほろば』
活動の概要	・「佐保川・菩提川・孤川」清掃と桜イベント ・親善ドッジボール大会 ・「なら三笠まほろば文化祭」 ・「川柳&フォトコンテスト」 ・「ノーテレビデー・ノーゲームデー」推進 ・子ども未来会議 ・「クリーンウォーク」
校区の特色ある取組	・郷土の空間や資産を学ばせ、地域貢献と環境美化を体得させる清掃活動。 ・家庭での会話促進を啓発し、感性を高め、作品をパネル化し、文化祭や市役所渡り廊下に展示公開するなど地域の子どもたち、住民の有用感を高める。 ・交流会を実施し、出会いと感動を体験させ、校区の一体感醸成に寄与。 ・ワークショップと記念講演を実施し、思考力・判断力・表現力を育む。
取り組むうえでの工夫	・地域の諸団体、コーディネーター、学校職員間の連絡調整を定期的に行い、地域の豊かな教育力を生かし、子どもの連続した学びや育ちを支援する。 ・学校・保護者・地域の連携をさらに推し進めるため、学校も地域の行事に積極的に参加し、郷土に対する関心や愛着を高めている。
取り組みの成果	・協議会会長と総合コーディネーター及び教職員との緊密な連携と協働体制ができた。 ・子どもの意見を反映した「ノーテレビデー・ノーゲームデー」「ドッジボール大会」など校区全体の取組となっている。 ・地域が実施する事業に、中学生が積極的に運営協力し、地域貢献している。
取り組みの課題	取組について地域へ積極的に伝えて周知・理解を図るとともに、地域の意見や要望を効果的に取り入れていく双方向型の広報活動を充実させていく。
困っていること	・地域、学校両方にとってメリットのある施策を検討していきたい。 ・地域コミュニティを高めるため、学校、住民の意識改革が必須。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	金野 秀一	0742-33-1472（三笠中学校）
	今村 敦子	0742-33-1473（三笠中学校）

協議会名：若草中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	鼓阪幼 佐保幼 鼓阪北幼 鼓阪小 佐保小 鼓阪北小 若草中
	協議会の構成人数	51人
	コーディネーター数	28人
	ボランティア数	100人

本年度のテーマ	『奈良を知る 地域を知る』 ー幼小中の連携や幼幼、小小連携を大切にしながらー
活動の概要	・菜の花プロジェクト ・ニホンバラタナゴ保全活動 ・ビオトープづくり ・放課後学習支援 ・ゲストティーチャー ・合同遠足 合同授業 ・図書館環境整備 ・文化講演会
校区の特色ある取組	・世界遺産を校区に持つ立地を生かして歴史と環境を学んでいます（菜種油の精製と東大寺への奉納、校区で再発見されたニッポンバラタナゴの飼育、ビオトープづくりを通して佐保川の環境を考える、地域を知る講演会など）。 ・幼稚園から小学校へ、小学校から中学校への滑らかな接続のために校種を越えた合同の授業や制作、遠足などに取り組んでいます。 ・地域ボランティアとともに放課後の学習支援や環境整備に取り組み、進路実現と学びの場づくりを目指しています。
取り組むうえでの工夫	・支援していただける地域の方々への配慮を心がけています。 ・園児、児童、生徒の数が減少する中で、地域の方々や保護者、幼小中の園児・児童・生徒どうしの出会いを大切にしています。
取り組みの成果	・7校園それぞれの取組が軌道に乗り、保護者の期待も高まってきています。 ・それぞれの校園での地域の方々とのつながりが深まってきています。
取り組みの課題	・7校園の取組どうしのつながりが薄く、協議会としてのまとまりに欠けていたのではないか。 ・各校園どうしのコーディネーターや地域の方々のつながりも薄かったのではないか。
困っていること	・地域の方々是非常に協力的に活動いただいているが、多忙なため日程調整や時間調整が困難です。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	中尾 靖（中学校教頭）	0742-26-3273（若草中学校）

協議会名：伏見中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	伏見幼・小、あやめ池幼・小、西大寺北幼・小 伏見中
	協議会の構成人数	27人
	コーディネーター数	12人
	ボランティア数	150人

本年度のテーマ	つながる力を育てよう
活動の概要	◆ あいさつ運動 ◆ 図書活動 ◆ 美化作業 ◆ 地域活動
校区の特色ある取組	◆ 「響」・・・年3回（学期末）に中学校で行われる会議。学校（各幼・小・中園校長、中学教職員）、中学PTA役員、自治連合会長、少年指導協議会役員、同窓会役員、学校評議員、校区保護司代表、地域コーディネーターが出席し、中学から学校の状況や、取り組みについて報告があり、グループ協議、情報交換を行っている。 ◆ 「二十歳を祝う会」・・・同窓会が主催。二十歳を迎える卒業生たちが集まり、成人式の前日に体育館で行う式典。同窓会総会のあと、祝う会では、当時の教職員も参加し、和太鼓やダンス、ビンゴなどのイベントがあり、指導協・PTAのたこ焼き・豚汁などの炊き出しも華を添えている。
取り組むうえでの工夫	生徒たちが地域活動に積極的に参加できるよう、情報提供する。 学校のニーズを把握し、タイムリーな協力ができるよう、協議を重ねる。
取り組みの成果	学校・園と地域間の理解が深まりつつある。
取り組みの課題	◆ 学校関係者は、異動があるので、自治会との連携は、各コーディネーターが綿密に引き継ぎ、地域とのパイプ役として連絡を取り合う必要がある。 ◆ コーディネーターの後継者づくり。
困っていること	取り組み自体は、定着しスムーズに進んでいるが、ボランティア参加者が、同じ顔ぶれで、活動の認知度がまだ地域全体に広がっていない。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	協議会事務局	0742-45-7331（伏見中学校）

協議会名： 富雄中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	富雄北幼稚園・富雄北小学校・鳥見幼稚園・鳥見小学校・富雄中学校
	協議会の構成人数	25人
	コーディネーター数	12人
	ボランティア数	約100人

本年度のテーマ	『心をつなぐ地域と学校のパートナーシップ』
活動の概要	校区全体で取り組む環境整備活動、講演会、部活動指導・支援（中）、放課後学習支援（中）、地域活動への参加、キャリア教育への支援（中）、図書活動（小）、食育活動（小）、英語活動（小）、福祉体験活動（小） 他
校区の特色ある取組	・ 地域全体と教職員に向けての夏期研修会を開催 ・ 中学校においてボランティアクラブを設立 コーディネーターが顧問として関わる ・ 『学区ブランド産品』のアピール活動を継承することにより、より地域の連帯感を強化 ・ 環境整備活動『花咲きロード』による学校園間の連携強化
取り組むうえでの工夫	・ ひとつひとつの活動に対して評価、改善を積み重ねる ・ 「意見交換会」を定期的に開催することにより、地域支援人材と学校園の方向性を調整する
取り組みの成果	教職員の理解が深まり、各分野での連携が進められるようになった
取り組みの課題	地域支援人材の更なる広がり
困っていること	コーディネーターが積極的な活動を行っているが、多忙なため、時間管理が難しい

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	新谷 明美（総合コーディネーター）	090-2192-6633

協議会名：都南中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	都南中学校 精華小学校 帯解小学校 東市小学校 明治小学校 辰市小学校 精華幼稚園 帯解幼稚園 東市幼稚園 明治幼稚園 辰市幼稚園
	協議会の構成人数	45人
	コーディネーター数	15人
	ボランティア数	150人以上
本年度のテーマ	<u>地域の宝を育てる応援団 -SAKURA ネットワーク-</u>	
活動の概要	全ての幼児・児童・生徒に15年間の連続した「学び」を保障するために、地域の力を活用しながら学校園の教育活動を支援します。また、学校園を核とした地域コミュニティの活性化により、地域の教育力を高め、育ちあいのできる地域になるように取り組みを進めます。	
校区の特色ある取組	【SAKURA夢フェスタ3rd】 【地域みんなの美術館「都南の森」】	
取り組むうえでの工夫	子どもたちの「15年間の連続した学びの保障」を図り、自分の生まれ育った地域を誇りに感じ、地域を愛し、地域の役に立てる人間の育成を目標に支援活動を進めています。	
取り組みの成果	「育ちあいのある地域コミュニティ」の核としての学校園の存在を地域全体で認識し、家庭や地域の教育力を高めていく取組の充実	
取り組みの課題	地域支援人材の後継者づくりと更なる拡がりと事業の継続性の維持	
困っていること	各校園間の連携や地域のボランティアと学校園との橋渡し役として有機的に機能することを共有ビジョンとして持てる人材の発掘	
連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	虎杖 徳明（総合コーディネーター）	090-3030-6016
	松本 恭和（中学校教頭）	090-1156-4026

協議会名：田原中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	田原幼稚園 田原小中学校
	協議会の構成人数	15人
	コーディネーター数	5人
	ボランティア数	30人

本年度のテーマ	地域で育み地域で支える田原力の結集
活動の概要	・環境整備活動（ふれあい夢花壇、どんごが丘整美作業） ・交通安全活動（立哨活動、防災訓練） ・学習支援活動（体育実技ボランティア、図書ボランティア） ・田原に誇りをもつ活動（祭文、お茶の授業、千本づき、田原太鼓等）
校区の特色ある取組	・未来に夢つなぐ活動（小中一貫教育の特色を生かした交流） ・英会話科で学んだことをつなぐ（一条高校外国語科との交流） ・情報科で学んだことをつなぐ（奈良先端技術大学院大学への体験学習）
取り組むうえでの工夫	・新たに地域から学校に対して支援していただく方を増やすため、お知らせプリント、地域だよりを全戸に配布している。
取り組みの成果	・地域と学校との双方向の交流の進展。 ・将来への希望を持たせる取組の広がり。 ・児童生徒の地域への貢献度の高まり。 ・広報活動による新たな人材の確保。
取り組みの課題	・さらなる地域への啓発活動の必要性。 ・さらなる人材の確保と参加から参画へ。 ・個々の活動から組織としての活動へ。
困っていること	地域と学校、家庭の連携の必要性から交流の機会が増えてきた。そのことで出ていく機会が多くなり、時間のやりくりが難しい。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	浦辻 俊一	0742-81-0021（田原小中学校）
	榎本 克之	同上

協議会名 : 柳生中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	柳生小 柳生中
	協議会の構成人数	17人
	コーディネーター数	4人
	ボランティア数	50人

本年度のテーマ	柳生地区のよさを子どもたちが体感し、将来の地域の担い手としてしなやかな感性を育むような環境づくりや体験活動の充実
活動の概要	・環境整備活動(摩利支天山の再生、小・中学校の環境整備) ・伝統伝承活動 ・学習支援活動 ・合同行事支援活動
校区の特色ある取組	・地域再生のシンボルとして、地域と学校が協力して摩利支天山再生を進める。 ・ニッポンバラタナゴ(絶滅危惧種)里親プロジェクトを支援する。
取り組むうえでの工夫	子どもたちと保護者、地域有志の方々と協力をして行う。 教員だけでは教えきれない地域に伝わる文化や伝統を次世代に受け継ぎ、伝えていくために地域の人材を活用する。
取り組みの成果	・学校づくりへの意識の深まり ・信頼関係の深まり ・学校教育の深まり
取り組みの課題	・人材の確保 ・予算の確保
困っていること	事業の多くが特定の方々に依存している。ボランティアなどを含めて多くの人材を確保し、さらに広げていく必要がある。

連絡先	氏名	TEL (公表可能な方のみ)
	生駒 好明 (中学校長)	0742-94-0222 (柳生中学校)

協議会名：興東中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	大柳生幼稚園 興東小学校 興東中学校
	協議会の構成人数	17人
	コーディネーター数	10人
	ボランティア数	30人

本年度のテーマ	繋がろう興東、育てよう興東「ブランド」
活動の概要	○ 園・学校から地域への発信とした「興東フェスティバル」を実施 ○ 地域からの発信とした「興東里山祭り」を実施 ○ これらの行事のまとめとして「興東だより」新聞をつくり全戸配布する
校区の特色ある取組	興東校区には3つの自治連合会がある。それぞれの地域の良いところを「興東ブランド」として発表することで、地域の交流を深め、地域に誇りを持ってもらう。そのため、イノシシ汁の販売や大柳生太鼓踊りの披露等を行った。
取り組むうえでの工夫	活動場所を野外活動センターにして、一般の人も参加しやすいようにした。幼・小・中・地域住人の分担を決めた。事前に参加人数を聞かなかった。あまり細かいところまできっちり決めておかないようにした。
取り組みの成果	大人も子どもも、この行事が終わった後、やりがいや満足感がとてもあったことと、改めてこの地域の奥深さを知った喜びがあったこと。
取り組みの課題	地域の人たちは皆控えめであるので、全体に呼びかけてもあまり積極的に参加しない傾向がある。もっと学校を離れた、自分たちの活動であるという意識づくりと広報が課題である。
困っていること	少子高齢化がすすみ特に若者が少なく、機動力に欠けるところ。保護者がほとんど共働きで、あまり手伝ってもらえないこと。地域の役職のある方が役職をかねておられることが多く、同じ人ばかりがボランティアであり、負担が同じ人に多くかかるところ。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	井上 長子（中学校長）	0742-93-0080（興東中学校）

協議会名：登美ヶ丘中学校区教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	鶴舞幼 平城西幼 鶴舞小 平城西小 登美ヶ丘中
	協議会の構成人数	28人
	コーディネーター数	11人
	ボランティア数	89人

本年度のテーマ	～地域でつなぐ 子育ての WA～ 「共に 学び 育てあい」
活動の概要	◦放課後・土曜日・夏季休業中の学習支援 ◦環境整備 ◦児童・生徒の見守り活動 ◦クラブ活動支援
校区の特色ある取組	◦地域に根ざした学校支援活動を深めるために「ホタルの里プロジェクト」（ホタルのふ化から飼育をし、秋篠川にほたるをとりもどす活動） ◦本協議会の広報活動の一環として「ホタルフェスタ」 ◦中学校ですすめている《学びの共同体》を地域や小学校の先生方と共に考え学びあい情報交換の場として「地域合同教育講演会」の開催
取り組むうえでの工夫	◦小学校・中学校の隔たりをなくすためにクラブ活動を小学校にまで広げた ◦広報活動をあらゆる場面でおこなっていく ◦支援のための人材確保
取り組みの成果	◦少しずつではあるが地域への周知・理解は深まってきた ◦見えているようで見えないものが分かってきた
取り組みの課題	◦人材の確保 ◦情報の交換 ◦活動の充実と継続
困っていること	◦後継者づくり

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）

協議会名 : 平城西中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	右京幼、神功幼、右京小、神功小、平城西中
	協議会の構成人数	27人
	コーディネーター数	9人
	ボランティア数	153人

本年度のテーマ	「地域ぐるみで優しく・賢く・たくましい子の育成」
活動の概要	・図書室環境整備支援（図書室ボランティア）・校内環境整備支援(剪定ボランティア)の継続的活動 ・地域一斉落ち葉清掃活動・草刈り作業支援 ・読み聞かせ活動・登下校見守り・ホームページ管理補助 ・クラブ活動支援・栽培活動支援・英検監督補助 ・広報紙『学校支援だより』の年2～3回全戸配布 ・ボランティア交流会・ボランティアミーティング実施
校区の特色ある取組	・剪定ボランティア指導による『庭木の手入れ講習会』 ・図書ボランティア養成講座・北部図書館との連携 ・英検（平城西中にて実施）の検定監督補助 ・平城西中40周年記念事業「講演・演奏・生徒発表・餅つき大会」 ・『地域を知ろう 右京を知ろう』地域、児童の文化発表会 ・神功小ふれあい夏まつり ・児童校内清掃の支援ボランティア（右京小）
取り組む上での工夫	・学校と地域が共通理解しながら事業を進める為に、話し合いの機会を持つ。
取組の成果	・学校支援ボランティアの活動が定着し、地域の各構成団体が学校支援や地域活動について話し合えるようになった。
取組の課題	・支援人材及び活動の継続、深化、及び理解をすすめる。 ・「防災、減災」学習への取組。
困っていること	・教職員の事業への理解が進んでいない面がある。

連絡先	氏名	TEL
	渋谷 正人（中学校教頭）	0742-71-2011（平城西中学校）

協議会名：二名中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	二名中・二名小・青和小・二名幼・青和幼
	協議会の構成人数	28人
	コーディネーター数	15人
	ボランティア数	約100人

本年度のテーマ	「子どもの元気は校区の力・地域の力。育てよう地域の輪・話・和」
活動の概要	●安全安心の町づくり「挨拶・声かけを大切にしたい見守り活動」 ●環境整備「各校において園芸・除草・剪定作業はじめ色々な面での環境づくり」 ●学校支援「図書館支援、行事などの活動・学習の支援」 ●学習支援「中学生対象の数学寺子屋活動、夏季・冬季の宿題支援」 ●つるし柿プロジェクトによる地域活性（渋柿の利用）
校区の特色ある取組	●先進校視察によるコーディネーター研修 ●渋柿を使った学区ブランド製品の製作 ー柿プロジェクトー「柿クッキー」
取り組むうえでの工夫	●「二名は一つ」を合言葉に学校園への協力を大切にしている。 ●年度始めに職員会議で各校のコーディネーター紹介等していただき、「顔」の見えるコーディネーターとして担当の先生方とも連絡を密に取り細やかな支援ができるよう確認していく。 ●参加ボランティアとの意見交換による支援内容の充実
取り組みの成果	●昨年度の活動を充実させてきた。学校支援活動に対する地域理解が深まり、定着してきた。 ●参加者の間で、挨拶は勿論のこと様々な会話も多くなってきた。 ●活動に参加する子ども達に意欲や輝きがみえてきた。 ●参加ボランティア間の連帯感が向上している。
取り組みの課題	●活動の理解は深まったが気軽にボランティアにきていただけるような工夫 ●登録ボランティアの高齢化、若い人材の掘り起こし。
困っていること	●学校の支援依頼とボランティアとのマッチング。 ●さらなるボランティアの人材確保及び後継者づくり

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	大木 博	0742-45-2222

協議会名 : 京西中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	六条幼稚園・六条小学校・伏見南幼稚園・ 伏見南小学校・京西中学校
	協議会の構成人数	33人
	コーディネーター数	11人
	ボランティア数	約120人

本年度のテーマ	『広めよう地域教育協議会』 ～育てよう地域のたからの子 育てよう故郷を愛する子どもたちに～
活動の概要	・グリーンプロジェクト(チューリップ・ひまわり・さつま芋・ゴーヤ) ・図書ボランティア・学校環境整備・福祉体験ボランティア ・ボランティア清掃
校区の特色ある取組	・オープンスクール(地域の方々を教師として招き、教科書にない教材にて授業を行う。) ・『京中に集まれ!! 守ろう命、つなごう絆』 中学校区に2小学校区をも持つ中、本事業でまとまりを持ち、より地域と密着していけるように取り組みをおこなう。
取り組むうえでの工夫	古くから旧家が存在する地域と戦後の都市化により移り住んだ人々が暮らす地域が混在する中、この地に生まれ育った世代の方々が多くなり多世代につながる関わり方を活性化する取組を行う。
取り組みの成果	各校のコーディネーター間がより密になり、今後の取組についてより積極的に展開、参加をしていける。
取り組みの課題	各校区で集約している人材を地域として集約し、一体化して活用できるようにする。
困っていること	今後共、地域教育協議会としての活動をより広く理解していただく為の広報等によりもっと身近に感じてもらえるようにする。

連絡先	氏名	TEL (公表可能な方のみ)
	吉田 敏昭	0742-51-7309

協議会名： 富雄南中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	認定子ども園富雄南幼・三碓幼・富雄南小・三碓小 富雄南中
	協議会の構成人数	27人
	コーディネーター数	16人
	ボランティア数	50人

本年度のテーマ	子どもも大人も生き生きできる地域活動の創造 結ぼう地域の絆 ～心・学び・安心～
活動の概要	・ 教育支援活動（英語、IT、部活動、読書、栽培、体力づくり、茶道など） ・ 環境美化活動（清掃、図書整理など） ・ 安全見守り活動（登下校巡回、青パト、あいさつ運動など） ・ 地域とのふれあい活動（昔遊び、収穫祭、餅つきなど）
校区の特色ある取組	・ 校区内の防犯、防災について話し合いを深め、地域との連携を図った。 （防犯地図づくり・現地視察研修・防災手帳作成予定など） ・ 各校園の取り組み（ボランティア募集や活動内容など）をたよりやHPで具体的に報告した。
取り組むうえでの工夫	・ 子どもと教職員と地域（ボランティア）がつながりを感じ楽しめるようにかかわる。 ・ 協議会を身近に感じてもらうために、イメージカラーの黄色で、名札を作成し協議会だよりを発行した。
取り組みの成果	・ コーディネーター同士の話し合いが増え、近隣協議会との交流も始まり意識が高まる。 ・ ボランティア登録数の増加。 ・ 継続して登下校の見守りやあいさつ運動を行うことで、安全対策の強化と共に子ども達や地域への認知度もあがった。
取り組みの課題	・ 各校園でのボランティア活動（教育・地域支援）の継続と、新たな活動を模索し進めていく事ができる組織づくり。
困っていること	・ 現場で活動するコーディネーターと、学校・園との認識に温度差があり、更なる連携が必要です。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	青山 法義	080-3803-7500
	佐野 祐司（中学校教頭）	0742-48-1671（富雄南中学校）

協議会名：平城中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	平城幼稚園、平城小学校、平城中学校
	協議会の構成人数	28人
	コーディネーター数	9人
	ボランティア数	約100人

本年度のテーマ	平城を愛し、自分も友達も大切にする子どもを育てる
活動の概要	○キャリア教育、食育におけるゲストティーチャーとしての支援 ○農業体験学習への協力・支援 ○放課後子ども教室への支援
校区の特色ある取組	○“食と農”ふれあいフェスタ2012の実施 ○地域の畑を借りた栽培活動 ○平城鉄火味噌づくり ○平城パープルスーツづくり
取り組むうえでの工夫	○学校と地域が支え合い助け合える関係を強化するため、情報を共有する。 ○学校園の行事に広く地域の方々に参加、協力をしていただく。
取り組みの成果	○子どもたちが様々な人・物・事と出会い感動を味わったり心を動かしたりできた。 ○栽培活動を通して収穫や商品化ができた時には達成感や成就感を味わうことができた。 ○諸活動を通して地域と学校園の関わり方が密になった。
取り組みの課題	○取組について十分な広報活動ができなかった。 ○コーディネーターを中心に活動を支援していただける人材を新たに選出し、協力体制を強化していくこと。
困っていること	○西大寺北小学校区の児童は平城中学校と伏見中学校に分かれて進学するため、小学校時代は伏見中学校区の行事に参加し、中学生になると平城中学校区の行事に参加することになってしまうこと。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	神谷 佳宏（中学校教頭）	0742-45-9405（平城中学校）

協議会名：飛鳥中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	飛鳥幼稚園 飛鳥小学校 飛鳥中学校
	協議会の構成人数	25人
	コーディネーター数	6人
	ボランティア数	100人

本年度のテーマ	未来を切り拓く子（地域に誇りを持ち、地域を大切にする子）
活動の概要	校区の学校と連携を取りながら必要としている支援を地域力でサポートし、その関わりの中から地域のつながりを大切にできる子ども達を育成する。 あいさつ活動・巡視活動・相談活動・校内整備活動・野菜収穫活動
校区の特色ある取組	校区内のつながりを強化するために学校という場所を借りて、地域の人材力を活用しながら特色的な催しを行う。今年度は、竹炭づくり
取り組むうえでの工夫	思いっだけの取組にならぬよう各校園と協力し、継続的に行えるよう定期的な会議の開催をする。
取り組みの成果	飛鳥独自のオリジナル性がでてきた。タベのコンサートや燈花会・浴衣教室など地域理解が広がり、今や一つのイベントとして認められている。コーディネーターと地域役員との連携が良く取れだしている。
取り組みの課題	一団体や特定の人材に止まらぬよう啓発を重ねていく必要がある。
困っていること	一つのイベント（催し）を行うと人手が必要になってくる。それらの協力ボランティア育成が今後の取組として必要になる。人数を増やすことがより校区をまとめるきっかけとなる。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	岩井 昌美	090-3624-3355
	中村 紀代子	0742-22-6776

協議会名：登美ヶ丘北中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	登美ヶ丘幼・登美ヶ丘小・ 東登美ヶ丘幼・東登美ヶ丘小・登美ヶ丘北中
	協議会の構成人数	21人
	コーディネーター数	18人
	ボランティア数	120人

本年度のテーマ	地域教育力の再生と創造・地域と学校の協働・地域に根付く人づくり 「ここにいてよかった、ここでよかった！」
活動の概要	この活動を浸透させる為に「 とみきたスクール 」とする。
校区の特色ある取組	“サマーセミナー”を開催し、事業のPR活動と、人材の開拓。 夏休みに校区内の5校において、2日間で16講座を開催。 学校では出来ない講座を開設し、190人が参加し満足の高い結果だった。 (市長と語る、学習塾の問題、第二の人生他) 4新聞社も後援、新聞にも掲載。 ルーマニアとトレドとの国際交流 (地域・行政・企業・学校との連携)「農園クラブ」校内の整備を行い、作物を育成し、生徒・地域に年2回収穫祭を行っている。地域の人が絶えず出入りする事により、生徒との自然な交流が出来ている。
取り組むうえでの工夫	① 事業のPR活動 ② この事業に関心を持ってもらう ③ 主催者と参加者の満足 (決して自己満足ではいけない) ④ 学校が出来ない事を支援する
取り組みの成果	“サマーセミナー”(年1回)から、“とみきた塾”(年間活動)への移行。 講座は12講座で、各講座の責任者が責任を持って運営する。 運営する責任者も教育への関与がやりがいを感じ、良い方向に行っている。 地域の人材の開拓とPR活動につながり、事業への理解が深まった。
取り組みの課題	決してイベントではなく、 地域・学校のニーズに合った活動が目標 。 主催者の勝手な、自己満足にたくない。
困っていること	地域の無関心と、学校の情報公開と教職員の参加意識。

連絡先	氏名	TEL (公表可能な方のみ)
	村 内 俊 雄	080-4234-0940

協議会名：都跡中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	都跡幼 佐紀幼 都跡小
	協議会の構成人数	19人
	コーディネーター数	9人
	ボランティア数	140人

本年度のテーマ	「学校大好き、ふるさと大好き、都跡の子ども」
活動の概要	・放課後学習支援 ・各学校園の環境整備、図書読書活動 ・護身術教室 ・都跡ふれあいまつり
校区の特色ある取組	・小中一貫教育の指定を受けている本校区では、「都跡ふれあいまつり」で地域のコーラスや、中学校吹奏楽部と小学生マーチングバンドの合同演奏を開いたりしている。 ・校区に世界遺産が3カ所もあり、地域を大切にしていける活動が多くある。
取り組むうえでの工夫	・学校と地域コーディネーターが一体となって、地域の子どもを育てている。
取り組みの成果	・コーディネーターがリーダーシップをとり、さまざまな行事を計画し成功した。
取り組みの課題	・地域支援人材の後継者づくりと広がり。
困っていること	とくにない。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	藤田正博	
	溝辺文昭	

協議会名：平城東中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	朱雀幼、認定こども園左京幼、 朱雀小、佐保台小、左京小、平城東中
	協議会の構成人数	29人
	コーディネーター数	7人
	ボランティア数	100人

本年度のテーマ	「地域人材を活用し、協力し合える心豊かな子どもを育てよう。」
活動の概要	・地域の文化・伝統等に触れるイベント <ウォークラリー> 地域のよさを知ることと、健康・体力づくり ・親子・家族で感動を分かち合えるイベント <吹奏楽等の演奏会> ・科学的な思考や学習への意欲を高めるため <科学実験教室> 地域の祭りや各学校での開催（小・中の内容の連続性を配慮） ・幼児児童生徒及び地域の大人が共同で行う <ボランティア活動> 地域の方々と児童生徒との共同作業
校区の特色ある取組	・科学実験教室を小・中が校内で行うことに加えて、3つの地域の夏祭りでも行っている。 ・吹奏楽部の活動が盛んなことから、地域の3小学校、幼稚園、養護老人ホーム福祉センター、夏祭りなど、地域の様々な場で演奏会を行っている。
取り組む上での工夫	・地域、学校で分担し、それぞれ進めやすいものを、それぞれに進めていくようにしている。
取組の成果	・学校支援ボランティアが定着し、幼・小・中それぞれに環境整備や読書活動支援等が進んでいる。 ・活動を通して地域の人々に学校園の取組が知られるようになった。
取組の課題	・地域支援人材の継続と拡大
困っていること	・コーディネーターが様々な役割を兼ねていて大変忙しく、十分な活動ができる状況でないこと。

連絡先	氏名	TEL
	鈴木 真美	0742 - 72 - 0745
	吉田 義和（中学校長）	0742-71 - 6981（平城東中学校）

協議会名：月ヶ瀬中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	月ヶ瀬小学校 月ヶ瀬中学校
	協議会の構成人数	23人
	コーディネーター数	14人
	ボランティア数	約100人

本年度のテーマ	Think Globally, Act Locally ～視野を広げながらも ふるさとに夢と誇りを持とう！～
活動の概要	・ふるさとを知る…地域ボランティアガイド・ふるさと体験 伝統文化指導 ・ふるさと貢献…アルミ缶回収 環境保護・福祉貢献 環境美化作業 ・ふるさと発信…地域力強化プロジェクト 紅花染 国際理解・交流事業 ・安全…放課後子ども教室 子ども登下校見守り隊
校区の特色ある取組	地域伝統文化・豊かな体験…子ども狂言 尾山漫才 奈良晒 紅花染 闘茶会 地域貢献活動・郷土愛…地域ぐるみのアルミ缶回収 17年間継続 100台車いす福祉施設へ 友愛訪問(独居老人訪問) 地域ぐるみのE S D 新しい紅花染発信！ 地域講演会…平和学習会 読み聞かせの会
取り組むうえでの工夫	・取り組みを地域の中に限らず、ユネスコスクール間での交流や内外に発信させる工夫、視野を広く考えるようにする。 ・アルミ缶回収活動は初心を忘れずに継続させる工夫。(講演会・工場見学等)
取り組みの成果	・地域支援人材の定着化 学校園への理解の深まり ・保・小・中の取組の系統化連携 ・アルミ缶回収で車いすを100台寄贈などE S Dの取組は地域の誇り ・地域力強化プロジェクトで烏梅を使った紅花染の発信
取り組みの課題	地域支援人材の後継者づくり 若者層をコーディネーターや支援者に！
困っていること	小規模へき地校で、生徒数の減少、地域あげてこの問題に取り組む。 事務関係が事務局になり多忙なため時間管理が難しい。

連絡先	氏名	TEL (公表可能な方のみ)
	徳家 眞	
	井戸ノ上 直子	

協議会名：都祁中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	並松小・都祁小・吐山小・六郷小・都祁中
	協議会の構成人数	17人
	コーディネーター数	17人
	ボランティア数	30人

本年度のテーマ	素直な心をもった都祁の子を育てよう！
活動の概要	・図書活動 ・環境美化活動 ・体力向上 ・見守り活動
校区の特色ある取組	・見守り活動（都祁地域全体で年2回実施） ・地域交流（保・小・中で地域の方々との交流を深める取り組み）
取り組むうえでの工夫	・コーディネーターの協力と都祁地域自治会長会の協力がある。 ・都祁地域のいろんな各事業者との連携・協力がある。
取り組みの成果	・地域の方々との交流を深めることで生徒が学ぶことが多くあった。 ・地域の方々に学校のいろんな取組などを理解してもらえた。
取り組みの課題	・地域支援人材の定着化と更なる拡がり。
困っていること	・事務局が中学校となり負担が大きい。 ・コーディネーターが仕事をもっているため、会議や活動の時間設定が難しい。

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	福田 昌己（中学校教頭）	0743-82-0300（都祁中学校）

協議会名：富雄第三中学校区地域教育協議会

協議会の構成	関係する学校園	富雄第三幼稚園、富雄第三小中学校
	協議会の構成人数	23人
	コーディネーター数	10人
	ボランティア数	41人

本年度のテーマ	『小中一貫教育と街づくり』
活動の概要	図書支援、実技授業補助、部活動巡回、園児お預かり、環境整備、地域連携事業（里山整備、講演会、文化交流会、防災訓練等）
校区の特色ある取組	・ ボランティア・コーディネーター合同研修会や、地域全体の課題をテーマにした講演会の開催。 ・ 地域団体で幼稚園の敷地を利用し、里山づくりをしている。 ・ 小中学校・幼稚園に加え、養護学校の支援も行っている。
取り組むうえでの工夫	・ 学校園からは支援依頼書の提出。地域からは、支援提案書の提出といったように、双方から活動を提案し、計画・実行している。
取り組みの成果	・ 本事業への地域理解の広がり。 ・ 支援人材の充実および、支援の充実。 ・ 地域住民と子どもたちとの交流が深まってきている。
取り組みの課題	・ 計画性を持った支援の取り組み。（依頼の時期、方法等）
困っていること	ボランティア登録者との連絡方法。（支援依頼とその出欠確認）

連絡先	氏名	TEL（公表可能な方のみ）
	富雄第三中学校区地域教育協議会事務局	0742-43-9568（富雄第三中学校）
	松瀬 恵子（総合コーディネーター）	090-2702-0869